

製品名: PAR4 (8M3) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe15746**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02% 新型保存料 N、50% グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000
分子量	37kDa

抗原情報

遺伝子名	PAWR
別名	PAR 4; Pawr;
遺伝子 ID	5074.0
SwissProt ID	Q96IZ0
免疫原	ヒト PAR4 の合成ペプチド

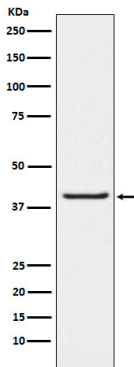
背景

がん細胞で選択的にアポトーシスを誘導し、細胞を多様なアポトーシス刺激に対して感受性を高め、動物モデルにおいて腫瘍の退縮を引き起こすことができるアポトーシス促進タンパク質。Fas プロテアソーム経路の活性化と NF- κ B 転写活性の同時阻害により、特定のがん細胞でアポトーシスを誘導します。がん細胞で選択的にアポトーシスを誘導し、細胞を多様なアポトーシス刺激に対して感受性を高め、動物モデルにおいて腫瘍の退縮を引き起こすことができるアポトーシス促進タンパク質。Fas プロテアソーム経路の活性化と NF- κ B 転写活性の同時阻害により、特定のがん細胞でアポトーシスを誘導します。WT1 による転写活性化を阻害し、転写抑制を増強します。WT1 との相互作用により、抗アポトーシスタンパク質 BCL2 のダウンレギュレーションを行います。それ自体が転写抑制因子でもあると考えられる。BACE1 のアミロイド前駆体タンパク質 (APP) 切断活性の制御に直接関与している可能性がある。

研究分野

細胞生物学

画像データ



LnCaP 細胞溶解物中の PAR4 発現のウエスタンブロット分析。